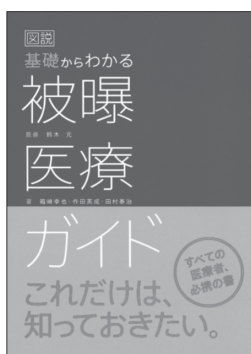


説明力で差がつく保健指導

編著：坂根直樹，佐野喜子 発行：中央法規 TEL.03-3379-3861
定価：2520 円(本体 2400 円＋税 5%)

保健指導の現場で、いくら頑張っても相手に伝わらないということがある。一方、上手に説明できたことで、対象者がよく理解し、行動変容につながっていくこともある。保健指導を進める支援者の説明力に焦点をあてた本書は、第1章で「新人が陥りやすい3つの罠，ベテランが気をつけたい3つの罠」を解説，2章以下ではさらに具体的な例をあげて，効果的な説明法が学べるようになっている。付録の「ゲームで学ぶ運動指導」「替え歌で学ぶ療養指導」も，工夫を凝らして楽しく学ぶことで，対象者がよりよく理解できるような説明力を向上させるきっかけづくりに役立つことだろう。



図説 基礎からわかる 被曝医療ガイド

監修：鈴木元 発売：日経 BP マーケティング TEL.03-6811-8200
定価：1890 円(本体 1800 円＋税 5%)

東日本大震災による福島原子力発電所の事故では，これまでとは比べ物にならない規模で多くの一般市民が無意識，無自覚のうちに被曝する危険にさらされることになった。本書は，専門職だけでなく「一般の方々にも被曝医療について理解してもらい，正確な知識を持って正しく恐れながらしっかり対処していくことをめざして」刊行された。自然界に普通に存在する放射線，医療としての放射線による診断と治療，そして原子力施設での事故による放射線漏れ，それらによる被曝について，正しい知識を得るために，本書を読んでおきたい。



1歳児のころ

大人との関係の中で育つ自我

著：近藤直子 発行：ひとなる書房 TEL.03-3811-1372
定価：1785 円(本体 1700 円＋税 5%)

保健所で18か月児健診後の発達相談を始めた著者が，その後，ことばをもたない障害児の療育体験から，1歳児とあらためて向き合うようになった。発達相談で出会った8000名を超える1歳児とその母親たち，さらに1年間継続的に付き合ってくれた1歳児たちから提供を受けたデータをもとに，子どもがことばを成立させる過程やころの成長，自我を確立していく過程について観察し，研究した結果をまとめたのが本書である。子育て支援センターや保健センター，保育所や療育機関で働いている人たち，若い研究者にも読んでほしいとの著者の思いが込められた1冊である。



てるちゃんのかお

文：藤井輝明 絵：亀澤裕也 発行：金の星社 TEL.03-3861-1507
定価：1365 円(本体 1300 円＋税 5%)

海綿状血管腫という病気で，顔に大きなこぶのある主人公てるちゃんは，小学校1年生のとき，ひどいじめにあった。それでも両親の愛情に守られて，新しい学校に転校したてるちゃんは，そこではじめられることもなく，顔のこぶは個性の1つとして受け入れられ，のびのびとすごすことができた。てるちゃんは今では医学博士となり，顔に病気や傷などを抱える人たちに対する偏見をなくすために，小・中・高校などで，「どんな人にも，その人にしかない価値がある」と伝え続けている。